

歴史的建造物

留萌管内の歴史的建造物

留萌管内には、豊かな自然とそこに住む者が残した暮らしや食の文化など、様々なものが往時の繁栄を偲ばせています。中でも、古い木造建造物が創り出す海沿いの光景は、ニシン漁に沸いた留萌の歴史を今に伝える貴重な財産となっています。

○駅前歴史的建物群と増毛小学校(増毛町)

増毛駅周辺は、明治初期から営業を続けてきた豪商、旧商家丸一本間家をはじめ、数々の時代を通り過ぎてきた美しい建物が並び、道北ではほぼ唯一といってよい歴史的な街並みを今に残しています。

道内最古の木造校舎である増毛小学校は平成24年3月まで校舎として使用し、旧増毛高校へ移転しました。

現在は、イベント時などに内部を公開しているほか、老朽化が著しい屋根等の修復にふるさと納税を募っており、今後の新たな活用方法として、小学校の歴史の資料展示や避難施設などを検討しています。

- ・旧商家丸一本間家 平成15年国指定重要文化財



旧商家丸一本間家



旧増毛小学校

○旧佐賀家漁場(留萌市)

留萌市礼受町にある旧佐賀家漁場は、江戸時代に開かれ、以来昭和32年まで113年間ニシン漁を営んできた漁場です。

江戸末期から明治初期にかけて建造された母屋が現存するとともに、国の史跡に指定(平成9年)されています。

- ・旧佐賀家漁場 平成9年国指定史跡
- ・同漁場ニシン漁撈用具 平成7年国指定重要有形民族文化財



旧佐賀家漁場

○旧花田家番屋(小平町)

小平町鬼鹿にある旧花田家番屋は明治38年頃に建築され、小平町の道の駅「おびら鯨番屋」に隣接しています。

道内で現存する番屋では最大の規模を有し、当時雇い人が200人を超えた大鯨漁家です。

- ・昭和46年 国指定重要文化財



旧花田家番屋

上記の建造物等は、次世代に引き継ぎたい北海道民全体の宝物として、NPO法人北海道遺産協議会が支援等を行う「北海道遺産」に選定されています。